

夢に向かって

～高い志をもって、自分の可能性に挑戦しよう～

教育目標 健康：たくましい心身の鍛錬

立志：学び続ける強い意志と実践

共生：思いやりと感謝の心

全校生徒327名(1年:101名, 2年:121名, 3年:105名)

令和2年5月11日(月)発行

風薫る季節、およそ1ヶ月ぶりの学校再開になります

木々の緑にも少しずつ深みが増し、風薫る季節になりました。本校の敷地内やその周辺は、色とりどりの草花がとてもきれいです。

さて、5月13日(水)と14日(木)の2日間、学級を二つに分けての分散登校になります。4月9日(木)からおよそ1ヶ月ぶりの学校再開になります。この間、週1回の担任からの電話連絡、HPによる学校情報やFMモットコム「もとみやエールラジオ!」でのメッセージ発信、巡回指導、市からの学習教材提供など、感染拡大防止に配慮しながら対応してきました。

4月に予定した行事はほとんど行われることがなく、生徒の皆さんにとっては満足できる学校生活になっていなかったと思います。しかし、何事にも「無駄なこと」や「意味のないこと」はありません。将来、何らかの形で、必ずプラスになることがあります。こうした時期だからこそ、日々の生活に意義を見いだし、過ごしてほしいと思います。今週、生徒の皆さんに会えることを楽しみにしています。

生徒会長の山口暁澄君から、全校生へのメッセージ

新型コロナウイルスの影響で、長い休校が続いています。その中で皆さんは規則正しい生活を送れているでしょうか。休校が続く中で、これからの生活に不安を抱えていることと思います。

こんなときこそ、平常心を保つことが大切です。学校と同じように、勉強と運動をし、いつも通りの生活を心がけることで、単なる長い休校ではなく自分自身を磨く休校になると思います。

また、この休校中に、自己マネジメント力も大切になってきます。自分をマネジメントし、目標に向けて正しく努力すれば、その努力は成果としてあらわれます。皆さんも、正しい努力をして目標を達成しましょう。

本宮二中生は、逆境に打ち克つことができると思います。この状況を乗り越えて、楽しい学校生活を送れるようにするために、全員が今出来ることを精一杯やりましょう。皆さん、笑顔で学校で会いましょう。

渡部美穂先生から詩のプレゼントです

「明日」 谷川俊太郎

ひとつの小さな約束があるといい
明日に向かって
ノートの片隅に書きとめた時と所
そこで出会う古い友だちの新しい表情

ひとつの小さな予言があるといい
明日を信じて
テレビの画面に現れる雲の渦巻き
〈曇のち晴〉天気予報のつつましい口調

ひとつの小さな願いがあるといい
明日を想って
夜の間に支度する心のときめき
もう耳に聞く風のささやき川のせせらぎ

ひとつの小さな夢があるといい
明日のために
くらやみから湧いてくる未知の力が
私たちをまばゆい朝へと開いてくれる

だが明日は明日のままでは
いつまでもひとつの幻
明日は今日になってこそ
生きることができる

ひとつのたしかな今日があるといい
明日に向かって
歩き慣れた細道が地平へと続き
この今日のうちにすでに明日はひそんでいる

【詩集『魂のいちばんおいしいところ』サンリオ出版・1990年刊】



★先行き不透明で予測が困難な時代ですが、「たしかな今日」を大切に、未来を信じて歩いていきましょう。
(3学年 国語科 渡部美穂)

新型コロナウイルス感染拡大防止・収束に向けて、引き続きお願いします